

森の新聞

日本野鳥の会広島県支部



2013. 5・6

No. **186**

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html



■写真「エゾフクロウ」 倉岡敏彦氏（会員）

5月

4(土) 太田川BW 初級講座 (広島市)

6(祝) 八幡川探鳥会 (広島市)

11(土) 広島城探鳥会 (広島市)

同 連絡会 (18:30~)

12(日) 久井宇根山探鳥会 (三原市)

18(土)~ 中四国ブロック会 (岡山県)

25(土) 宮島探鳥会 (廿日市市)

26(日) 比婆山探鳥会 (庄原市)

6月

1(土) 連絡会 (18:30~)

2(日) 八幡川探鳥会 (広島市)

8(土) 縮景園BW 初級講座 (広島市)

30(日) 世羅台地探鳥会 (三原市)

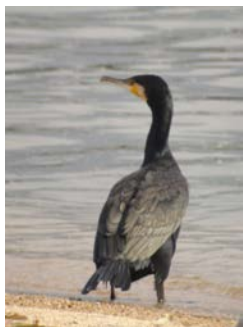
カワウ・サギ類生息調査にご協力を

広島県支部支部長 福本

広島県では近年のカワウの激増に伴う漁業被害の防止に向けて、今年度から数年かけて生息状況の実態調査を行うことになり、当支部に調査協力について事前の相談がありました。当支部の他には県内の内水面漁連や漁連、猟友会も調査協力を依頼される予定です。



調査の性格上、結果によってはカワウの駆除も充分に考えられるので、野鳥保護団体である当支部が、この調査に掛かわることに疑問を持たれる方もあるかと思いますが・・・が、我々が調査に積極的にかかわることによって、正確な生息情報を県や漁協などと共有することができ、そのデータをもとに、過剰な駆除を防ぎ、バランスのとれた生息数の維持につながるカワウ対策が策定されるよう県に意見を述べることができると考え、役員会でこの調査に協力する事を決定しました。



まず一年目(平成25年度)は、カワウの繁殖コロニーやねぐらの調査をアンケート方式で実施することになっています。そこで、**せっかく調査するのですから、この際、生息状況の似ているサギ類の実態調査も、支部独自で実施することにしました。**

近年、カワウと同じくアオサギ、ダイサギが増加(内陸部への進出)するのに従って、コサギや特にゴイサギが減っているようにじられてなりません。こちらも何ら具体的な調査が行われていません。そこでカワウと同時にサギ類の繁殖コロニーやねぐらに関するアンケート調査も実施したいと考えたわけです。

これらのデータもサギ類の生息環境保護や広島野鳥図鑑の改訂に役立つと考えています。なお、サギ類生息調査のデータは県などへの提供は行わず、支部独自で利用するものとします。

実際の調査は、広島県の自然環境課がアンケート様式を作った後、正式に各団体に調査協力依頼が出されます。支部の皆様には次号の森の新聞でご協力を依頼することになるかと思います。ぜひ多くの方のご協力をお願いいたします。

■既に繁殖は進んでおります。
カワウ、サギ類の繁殖コロニーやねぐらについては、事前に気をつけて観察し、データを残しておいていただければ幸いです。

■「ねぐら」、「コロニー」の情報項目
①観察日時 ②場所(詳しく)
②利用中の種と数
③状況(巣数、巣内の状況、ヒナの数) 等

ホットライン ☎～090-■94-8932 (光本)



写真(アマサギ):佐々木氏(会員)

④情報カードは支部の宝だ！

中崎

～どんだして～

私が双眼鏡でスズメを数えていると、お散歩中の方から声をかけられることがある。それは決まって「何か珍しい鳥がいるのですか？」。

相手にしてみれば単なる声掛け、挨拶代わりなのだろうけれど、ちょっとうがって考えてしまう。『バードウォッチャー、すなわち珍鳥追っかけ屋さん』と世間一般的には思われているのだろうか？

スズメを数えています、なんて返事をしたら、相手の期待を裏切ってしまうだろうか？ へんなひとって思われるかしら？

(もう思われてるけど、多分)



謎の美女バーダー、
えっちゃんの似顔絵だ！

私がスズメを数える理由、それはズバリ、情報カードに「鳥の数」という項目があるからである。情報カードは、支部の活動に、1番手軽に参加できる方法のひとつだと思う。広島県支部には3種類の情報カードが準備されている。

I …1枚のカードに1種を記録するもの

II …1枚のカードに複数の種類の情報を記録するもの

III …紙ではなくインターネットを利用して送付するもの

カードには【年月日／時間／場所（地図メッシュNo.）／天候／鳥の種類／鳥の数／繁殖に関する行動／標高／環境／報告者（観察者）】などの項目がある。

これらに不備があると情報の価値が減じる。ヘタすれば「参考記録」に下落する。最初は多少面倒だが、慣れればどうってことない。

…とは言うものの、鳥以外は少しうざいな～と、正直思うことはありませんか？ 特に次の項目。

○「標高」…私的に未記入のトップである。でも GPS (衛星を使って自分の位置を知ることができるシステム) を持っていれば記入は簡単かも (ケータイもカーナビも持っていないので自信がない)。

○「地図メッシュNo.」…ここ重要。支部のホームページの「野鳥情報」にメッシュ地図が載っていて、クリックすると拡大地図が開くようになっている。さすがだわ、広島県支部。

○「鳥の数」…それほど厳密でなくてもよいと思う。さすがのナカサキも多くなったらざっくり「100±(100羽前後)」。

そのうちカウンターを買おうと思っはいるんですがね(15年くらい前から)。

最後に。1月に行われた総会で、「どのような記録を出したらよいのですか？」という質問が出た。

答えは、その人が「おや？」と思ったものは何でも OK (繁殖に関するものはぜひ)。

でもちょっとあやふやだな～と思ったので、ナカサキの基準を紹介する。ご参考までに。

①鳥が珍しい ②行動が珍しい ③場所が珍しい

①と②の「珍しさ」については、思いっきり『主観』で。

そして、③の「場所」とは、すなわち「メッシュの穴」ダ!! (決まった！)

<探鳥会報告記>

■平成 25 年 3 月 10 日(日曜日)

No. 1857 御手洗川探鳥会 (初開催)

降雨50%予報のところ、さすがに曇ってはいいたものの雨は降らず、34名の参加をいただき(会員 20 名・非会員 14 名)、新しい場所での初めての探鳥会を実施することができました。

内容・気付きなどは次のとおりです。

- ・ツバメを初認しました！(神社と河口で各1羽)
- ・まっ黒頭の夏羽のズグロカモメが3羽。一方、百単位のユリカモメはまだ冬羽のまま。
- ・堤防上から観察できたカモ達の多くは、既にカップルが成立しているように見えました。
- ・ヒドリガモの群れに交じって見事なナポレオンハットのヨシガモ♂が31羽。色鮮やかで目立っていました
- ・ホシハジロが沢山眼下に集合し頭を隠して休息中。ウミアイサも2ペア、かなり沖合で潜水を繰り返していた。
- ・葦原のある潮回しで期待していたオオジュリンとバン、また探鳥会開始前には確認できたカワセミはどこに？ 残念でした。

・確認できた鳥・・・42種

オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、ウミアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、イシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、ウミネコ、カモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、インビヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、アオジ 以上

集合場所の地御前神社や、御手洗川河口周辺に集まっていた野鳥達を、たくさん参加してくださった皆様と楽しく観察することができました。

3 月に入ったこの時期はそろそろ北帰行が始まっている様子で、冬鳥観察会としては最後のチャンスだったのではないかと思われます。

スコープが沢山あり、会員の皆さんが周りの方々にいろいろ説明してくださったお陰で、初心者や双眼鏡だけの方もしっかり鳥の様子を確認でき、感激の声を聞くことが出来ました。

担当として感謝！感謝！です。
(大西)



写真提供：石川氏 撮影：外山氏(会員)

■平成 25 年 3 月 16 日(土曜日)

No. 1858

県民の浜探鳥会

- 10:00 呉市上蒲刈県民の浜「輝きの館」駐車場に集合し、近くの東屋まで徒歩でゆっくり移動です。
- 眼下に望む海は、3 つの小さな無人島を囲むように広がっています。ここでは望遠鏡の出番。各人静かに海面上を探す時間が 30 分余り続き、目が慣れたところに一番近い島の周りに、ついに鳥影を発見しました。
- カモメ類、カワウの群れ。おや？その並びに少し違う鳥の姿があります。待ちに待った瞬間でした。参加者の雰囲気は一気に明るく賑やかに。「あび」類は RDB 掲載の希少鳥類。そして我々広島県の県鳥です。
- それから 12 時まで、私達はずっとシロエリオオハムの姿を追い続けました。「あび」の動きに合わせて望遠鏡を持って立つ位置を変えながら、誰もあきることなく、目はくぎ付け状態です。
- シロエリオオハムは波の激しい辺りに集中し、横並びになって群れていました。ギラギラした水面の白波の合間に見え隠れしながらも、少し長めの首をかしげてみたり、羽ばたきたりするのを見ると、「あび」の「あび」らしさを感じることが出来ました。
- 白波が立っているところにはきつとイカナゴ等の「餌」が集まっているに違いない・・・カモメ類もカワウも 群れているわけだ～。な～るほど！
- 春の陽射しの下で、今では珍鳥ともいえる「あび」類に会え、また「60 羽超」という想像をはるかに超える姿を数えることができ、大満足の「あび」探鳥会でした。
- 次に会えるのは、来年！・・・もうその時を思い浮かべながら解散しました。 (大西)



写真:才峠氏(会員)

ついでの <お話し会報告記>

■平成 25 年 3 月 10 日(日曜日) **日本全国鳥話 八重山諸島編**



写真:井町氏(会員)

「事務所当番は、暇だあ～～！」の訴えを、なんとかせにやあイカンゼヨ・・・と、前号の森の新聞で突如立ち上げた「お話し会」。当然、言い出しっぺのわたくしめが先頭バッターを務めさせていただきました。

怠け者が用意した資料は、「石垣島・西表島の固有種(亜種)」のリストのみ。

「何か見てみたい種や亜種はいませんか？」程度の投げかけで、「カンムリワシ!」「寝ぼけたズグロミゾゴイが見たい!」「オサハシブトガラスって何?」「リュウキュウコノハズクって簡単に見れるのか?」集まった皆さんは全員身を乗り出して話に夢中です。

お客さんの中には複数の八重山経験者も来られていて、非常に的確に質問に答えてくださるので、言い出しっぺオヤジの出る幕は無し。挙句の果てに、昨秋訪問したばかりの井町さんが参戦されて参加者の心は遠く八重山諸島に飛んで、帰れなくなってしまったのでした。

皆さん、いつてらっしゃい。台風には気をつけてね。(光本)

<会員投稿のページ>

前号にて「写真」「イラスト」等の投稿を呼びかけましたところ、沢山の方から写真をご提供いただき、表紙・紙面を賑やかに飾らせていただきました。また、身近な鳥に関する「原稿」のご提供もいただき、非常にうれしく思っている次第です。

会員の皆さまからのご投稿は何時でも大歓迎です。「身の回りの鳥話」「探鳥会の参加感想」「遠出をされた探鳥報告記」、何でもふるってお寄せ下さい。

■宮本さん（会員）文・写真

以前は探鳥会でお世話になりましたが、近頃はご無沙汰ばかりで失礼しております。先日中崎さんがスズメの事を書いておられるのを読みました。私も去年の秋から気になるスズメが住みつくようになりましたので、その出来事を書いてみました。

我が家のチュン

昨年の秋から我が家の軒先でスズメが2羽寝泊まりするようになりました。

近頃の家は寝泊まりできるような隙間が無いそうですが、我が家は築50年の瓦屋根ですから軒先三寸を寝床にする位のスペースは充分あります。

スズメは夕方暗くなると戻ってきて朝明るくなったら出て行きます。

なぜ気付いたかというと、雨の日も風の日もそのたびにチュンチュン鳴くのです。

鳴くのは♂?もう一羽の♀?は少し離れて寝ます。多分♂は彼女に「寝るぞ」「起きたか」と言っているのだと思います。私はそのお泊りさんをチュンと呼ぶことにしました。そして生態を調べてみようと思い可部の市立図書館に行きました。

スズメの本はほとんどが子ども向けでしたが、その中にキタキツネで有名な竹田津実さんの本がありました。死にそうになったヒナが獣医の竹田津さんの病院に連れて来られましたが、やがて元気になり放鳥しようとしたところ嫌がって座敷スズメになってしまったお話です。その呼び名がチュンでした。我が家と同じだったので笑ってしまいました。

我が家のチュンは朝元気のいい声で鳴くので私が真似をしてみました。全く反応はありません。竹田津さんのチュンは呼ぶとすぐに飛んで来るとのこと。やがて彼女が飛び立つと急いで後を追いかけます。昼間はどこに居るのやら? 夕方帰ってくるのが遅いと、ネコやタカにやられたのではないかと心配になります。そのうち巣造りでもしてくれないかと思っています。



■福本さん（会員） 文

上野原の野鳥

上野原市を知っている人は、広島ではめったにいないでしょう。

私が 2010 年 4 月から 13 年 3 月まで 3 年間、教員として勤めた帝京科学大学の所在地で、山梨県の東端、JR 中央線通勤特快に乗れると東京の新宿まで約一時間という、人口 2 万 6 千人余りの田舎町。東京の探鳥地として名高い高尾山の登山口である高尾駅から名古屋寄りに 3 つ目の駅です。

私がここで過ごした 3 年間に観察した野鳥は 88 種です。多くは広島でも見られる鳥ですが、いくつか上野原というか、関東地区に特有の野鳥生息事情を感じたままにお話ししましょう。

まず、上野原や東京の多摩地区で目立つのが外来種ガビチョウです。早春から晩秋まで茂みがあればいたるところ、大きな美声で囀っています。広島では冬の林床でカサコソと落ち葉をひっくり返す音を聞けば、たいていシロハラですが、関東（上野原）では、たいていそれはガビチョウで、たまにシロハラの事もあるといった具合です。

もちろん関東地区ですから広島にはいないオナガの姿もよく見ますが、ガビチョウが目立ちすぎるせいか、実際に減ったのか、40 数年前に一年間、多摩地区で過ごしたころに比べて目立たなくなっている感じを受けました。

大学構内ではハクセキレイが優先種で、駐車場など、何もないうちに思える場所にもいつも見かけました。そして、広島でも見られる冬のねぐらとは別に、6～7 月にその年生まれの雛も一緒に夏季ねぐらを形成するのを見ることができました。一度は大学の同僚教授の研究室の窓際の桜の木が使われ、夕方薄暗くなると、数百羽が賑やかに集まる様子を動画で記録することもできました。

山梨県は海なし県ですから上野原にはカモやシギチは少ないのですが、大野貯水池という日本最古（重要文化財指定）の小さな発電用ダム湖と、桂川という太田川級の二級河川があって、珍種は見ませんでした。10 数種のカモとイカルチドリ、インシギの 2 種のシギチを見ることができました。また、少数のキンクロハジロとホシハジロが大野池で越冬しているのも確認できました。

また、アオサギ（あちこちで繁殖）やハヤブサもよく見られ、繁殖期に大学構内でインビヨドリが見られるなど、全国的に言われているこれらの内陸進出が実感できました。また野鳥ではありませんが、広島などと同じくツキノワグマも増えているようで、市内各所にクマの注意看板が出ています。



今回は字数の関係で写真は付けられませんが、5 月 11 日（土）14 時からの私の事務所当番の時にお見せしたいと思います。大した写真はありませんが、唯一の目玉は、バンディング調査時に撮ったアリスイの、ヘビを思わせる威嚇動作と、ハクセキレイの夏季ねぐらの動画です。

写真（ツリスガウ）：穂井田氏（会員）
4月9日（火）正午頃 O 川放水路 M 橋東詰のヨシ原

探鳥会のご案内

- ◇探鳥会には、会員・非会員の別なく参加いただけます。
- ◇参加の事前申し込みは不要です。
案内に記載された「集合場所」にお集まりください。
- ◇雨天の場合は中止です。
- ◇参加費は 200 円です。
(中学生以下、無料)
- ◇小学生以下の参加は、必ず保護者同伴をお願いします。
- ◇自然観察では「やさしいきもち」を励行し、自然へのローインパクトを心がけましょう。

**新緑のシーズンは、
野鳥観察には絶好の季節。
囀りのあふれるフィールドに
出かけてみませんか？**



イラスト：まつもとみちお氏(会員)

● 初級講座 第五弾！

No. 1867 太田川 BW 初級講座 5 / 4 (土)

カワセミ・サギ類などおなじみ水辺の鳥達と、
渡り途中のノビタキなど、太田川沿いで野鳥
を探しましょう。 (広島市安佐南区)

- ① 8:30 ② アストラム西原駅改札 外
- ③ 10:00 太田川河川敷まで歩いて鳥合わせ。
その後引き返して、西原駅で解散。

- ④ 西原駅～河川敷～西原駅
- ⑤ ツバメ・セキレイ・サギ類などの
身近な基本種
- ⑥ 初心者の方に野鳥観察の基本的な
レクチャーを実施します。お気軽に
ご参加ください。
- ⑦ 光本

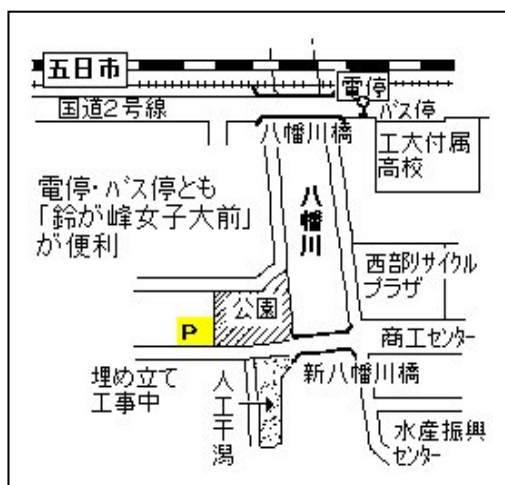
①集合時間 ②集合場所 ③解散予定 ④内容 ⑤観察可能種 ⑥その他 ⑦担当者

● **ゴールデンウィーク中のシギチドリは？**
No. 1868 八幡川探鳥会 5／6（祝）

渡り途中のシギ・チドリ類や、居残り中のカモ類などを、河口・人工干潟と工事中の埋立地内で探します。 **（広島市佐伯区）**

- ① 9：30 ②みずとりの浜公園東側ベンチ
 ③12：00 ④徒歩、約4km 雨天決行
 ⑤カモ類、カモメ類、サギ類 など ⑥終了
 後も観察したい方は弁当持参

⑦日比野



● **愛鳥週間は、支部長さんと探鳥会！**
No. 1869 広島城探鳥会 5／11（土）

5月10日からの一週間は「愛鳥週間」ですね。この機にあわせて広島市中心部「広島城」で探鳥会を開催します。渡り途中のこの時期に街中でどんな野鳥と出会えるのか大変楽しみです。 **（広島市中区）**

- ① 9：00 ② 護国神社前売店集合
 ③ 11：00、解散予定 ④ 城址公園を反時計回り
 ⑤ シジュウカラ、エナガ等の留鳥。渡り途中の夏鳥にも出会えるか？
 ⑦ 福本



写真：井町氏(会員)

● **愛鳥週間第二弾は、サギ山観察**
No. 1870 久井宇根山探鳥会 5／12（日）

初夏を迎えた田園地帯を車で移動しながら探鳥します。まず集合地点で「大・中・小・亜麻・五位・笹」の6種が入り乱れるサギ山を観察。そののち、周辺の田んぼや溜池を回り、最後は宇根山の「岩海」を訪問し夏鳥の声を楽しみましょう。 **（三原市）**

- ① 9：00
 ② 三原市くい文化センター駐車場
 ③ 昼前には解散予定
 ④ サギ山観察の後、車で移動
 ⑤ サギ類、夏の小鳥類
 ⑥ コースは状況に合わせて変更有
 ⑦ 三好

● 初夏の宮島でウォッチング！

No. 1871 宮島探鳥会 5/25 (土)

世界遺産の島・宮島の青葉の萌える大元公園で、
渡り途中の夏鳥を探しましょう。(廿日市市)

- ① 6:40
- ②宮島口始発フェリー
- ③10:00 (後半戦あり) ④栈橋～大元公園、徒歩
- ⑤キビタキ・コサメビタキ、カラ類など
- ⑥後半参加の方はお弁当持参で。

■始発フェリーに乗り遅れた場合は、
宮島大元公園までお越しください。

■探鳥会の後半は弥山に登り、春のタ
カの渡りを観察します。もちろん、
公園のみの参加も OK です。

⑦日比野

● 早朝のコーラスを満喫！

No. 1872 比婆山探鳥会 5/26 (日)

夜明け前に響き渡る「クロジ」の囀り。キビ
タキやジュウイチ、アカショウビンなど、ブ
ナの森で夏鳥達のコーラスシャワーを浴びる
絶品の早朝探鳥会です。(庄原市)

- ① 4:30 ②立烏帽子山駐車場
- ③12:00 ④御陵方面に歩き朝食・鳥合せ。
午前中に駐車場まで戻り解散 ⑤上記
- ⑥朝食持参 登山道を歩いての探鳥です。
着衣・靴には充分ご配慮ください



■公共交通機関はありません

■詳細は支部 HP を参照してください

⑦三好

● 入梅前に熱い鳥見を

No. 1873 八幡川探鳥会 6/2 (日)

夏の代表は、飛び交いダイブする純白のコア
ジサシ。当地での繁殖が見れなくなって随分
経ちますが、何だか安定期を迎えそうな「工
事現場」での繁殖に期待したいものです。

(広島市佐伯区)

⑦日比野

■実施要綱は5月と同様です

■相当暑い探鳥会になりそうです。
帽子・飲料は必ずお持ちください。

● 初級講座 第六弾！

No. 1874 縮景園 BW 初級講座 6／8（土）

渡りの季節が終わった縮景園でどんな野鳥が暮らしているでしょう。双眼鏡をぶら下げて、「田植祭」前日の庭園を散策してみましょう。（広島市中区）

①9：15 ②園内芝生広場 ③11：30 解散

④園内に生息する野鳥の生態を、じっくり観察します。

⑤カルガモ・アオサギ・カワセミ等

⑥初心者の方に野鳥観察の基本的なレクチャーを実施します。お気軽にご参加ください。

⑦光本

● 世羅台地の夏の野鳥

No. 1875 世羅台地探鳥会 6／30（日）

田園・里山の風景の広がる世羅台地で、夏の野鳥を観察しませんか？ 御調八幡宮には夏鳥の声が響いているはず。車で移動しながらの観察会です。（三原市）

①9：00 ②御調八幡宮駐車場

③12：00 解散予定 ④八幡宮から車に分乗して世羅台地を巡ります。

⑤ブッポウソウ・オオルリ・キビタキ等

⑥公共交通機関では難しそうです。

⑦三好



【や・さ・し・い・き・も・ち】

や 野外活動は無理なく楽しく
さ 採取は控えて、自然はそのままに
し 静かに、そっと
い 一本道、道からはずれないで
き 気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑
も 持って帰ろう、思い出とゴミ
ち 近づかないで、野鳥の巣

※日本野鳥の会の「マナー標語」です

回覧板です！①

★「野鳥のヒナを拾わないで」 キャンペーンにご協力ください！

今年も日本野鳥の会が、鳥類保護連盟・NPO 法人野生動物救護獣医師協会と共に毎年の愛鳥週間の前後に展開している「ヒナを拾わないで!!」キャンペーンが始まります。

■このポスターを張っていただけませんか？■

この季節は野鳥の子育ての季節です。身近な場所でも、かわいいヒナに出会うこともあるかもしれませんが、明らかにケガや病気とわかるものでないヒナを迷子だと思って拾ってしまうと、親鳥から引き離してしまうことになりかねません。

- ☞ 支部事務所に取りに来ていただくか、野鳥の会 HP からダウンロードしてください。
- ☞ 中国新聞の別紙「ちゅーピー子ども新聞」でこのキャンペーンを取り上げてくださる
そうで、5月号への掲載を目指して堀江さんが対応してくださっています。お楽しみに。



★「お話し会」企画！

「事務所？ 敷居が高くって、一度も行ったことがありません」「偉～い人だけが集まる、怖いところじゃないんですか？」「鳥好きなら、街中よりフィールドでしょ？」。。。。。。

会員の会費と尊いボランティアで運営されている、西区横川にある県支部事務所&野鳥図書館。ほとんど来訪者・利用者が無い現状は、大変残念なことです。何とかお気軽にご訪問いただきたいと願い、今期も事務所当番さんとの「お話し会」を企画しました。興味のある「お題」がありましたら、是非一度、県支部事務所(野鳥図書館)をご来訪ください。

- | | | | |
|-------|----|---------------------|----------------------------|
| ■5/4 | 光本 | 「物欲よもやま話① 双眼鏡について」 | 我らの必需品「双眼鏡」について語りあかそう。。 |
| ■5/11 | 福本 | 「上野原(山梨県)の野鳥について」 | 面白動画もお見せします アリスって爬虫類? |
| ■5/19 | 今橋 | 「手話入門?」 | 手話と鳥見? 融合すると面白いカモ? |
| ■6/1 | 倉岡 | 「一緒に野鳥写真を鑑賞しましょう」 | 写真を見ながら鳥話 |
| ■6/2 | 光本 | 「物欲よもやま話② スコープについて」 | やっぱりまいぞ、きれいに見える望遠鏡 |
| ■6/15 | 井町 | 「すごい探鳥地の話をしよう!」 | 私が飛び歩いた世界中の探鳥地を紹介しましょう |
| ■6/16 | 福本 | 「鳥の羽のコレクションから」 | 鳥の羽根の面白話をしませんか? |
| ■6/30 | 光本 | 「日本全国鳥話④ 離島編」 | しゃべっても良いよ。(涙) 手もしっかり動かせそうね |

回覧板で〜す! ②

★Web 広報、展開中!

Facebook? Twitter?

何だかよくわからないけど、世の中のコミュニケーションツールは進化しているようです。

広島県支部も新しい世の中に乗り遅れてはなるまいぞ・・・と、ホームページやブログ、メーリングリストに続いて新しいツールを導入しました。

まだまだ充分な情報提供ができておりませんが、少しずつ勉強して、地道に仲間を増やす努力をしていきます。 会員の皆様も是非一度ご訪問ください。

■現在稼働中の Web ページ一覧

○日本野鳥の会広島県支部 (公式 HP)

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html

→ ○広島県支部お知らせ Blog

○広島県支部探鳥会情報 (Blog)

○会報「森の新聞」バックナンバー (Blog)

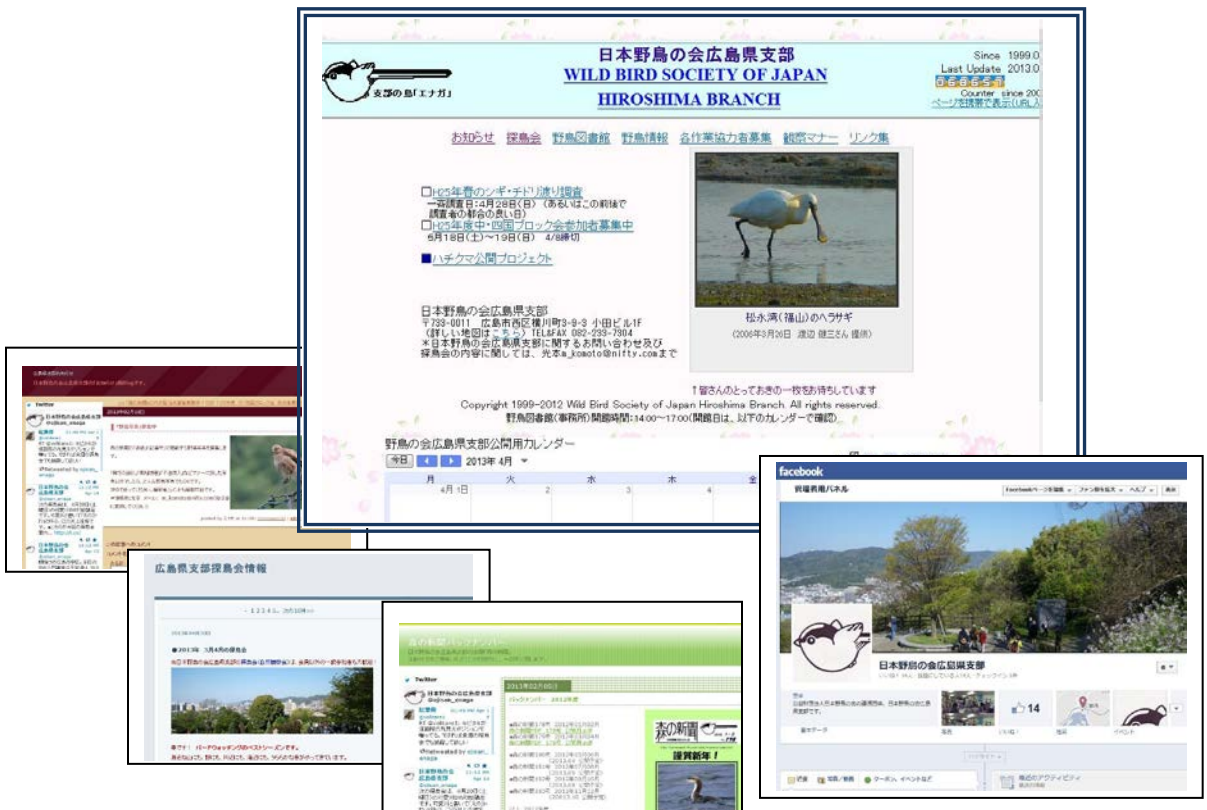
○Facebook ページ「日本野鳥の会広島県支部」

○Twitter 「日本野鳥の会広島県支部」

新規開設

新規開設

新規開設



★引き続き、募集中です！

①野鳥写真・イラスト・記事原稿、その他諸々。。。

今号、会員の皆さまから沢山のお写真やイラスト、記事を頂戴し、出来る限り紙面に掲載させていただきました。鳥の事なら何でも OK。引き続きのご提供をお待ちしております。

②「森の新聞」の PDF 配信希望者

郵送でお届けしています印刷物の「森の新聞」を、PC 画面上で楽しんでみませんか？

仲間から寄せられた野鳥写真やイラストを「カラー」で楽しめますし、自宅でのバックナンバーの整理も楽ちん。郵送費・印刷費といった支部の経費負担も軽減されます。

「お試し配信」も受け付けていますので、是非一度ご体験下さい。

③ 支部運営への協力者

支部長以下、すべてを会員の無償ボランティアで運営している県支部は、慢性的な人手不足で悩んでいます。できることだけで結構です。是非ご協力をお願いします。

- 探鳥会のサプリーダー ～良く行く探鳥会での案内役やお世話係（現地のみでスタッフ）
 - 支部 Web ページの運営～HP や Blog などの更新作業、画像掲示板の設置（メールでやり取りし、自宅作業）
 - 事務所当番 ～2カ月に1回程度、土日の午後4時間（西区横川の支部事務所）
 - 図書館の作業 ～月一回程度。図書館部の一員として図書の整理など（ウィークデーの午後）
 - 森の新聞編集 ～メールで原稿を受け取り、Word で編集作業（自宅にて作業）
 - 森の新聞発送 ～2カ月に一回、封筒印刷、封筒詰め作業、郵便局からの発送など（事務所・自宅）
 - 会員管理 ～名簿の管理と新規加入会員へのお手紙発送（自宅にて作業）
 - 野鳥情報の整理 ～探鳥会・各種調査・野鳥情報等の情報入力と整理（同上）
- その他 事務所の片づけ、文書整理、掃除、行政対応、保護活動など、なんでも「できること」でご協力を

☞連絡先:光本（m_komoto@nifty.com）

小島氏（元支部長）ご逝去のお知らせ

広島県支部創立に関わり支部とともに歩んでこられた小島（61）元支部長が平成 25 年 2 月 24 日 23 時 11 分、心筋梗塞の再発により永眠されました。

小学校の音楽教諭として多くの児童と共にあった生活の残りはすべて広島県支部に捧げられ、広島県支部を小島先生抜きで考えることはできません。支部報「森の新聞」で野鳥関係者にお知らせし、故人の野鳥にかけた想いを残されたものとして努めていきたいと思ひます。

東日本大震災のちょうど 1 か月前の平成 23 年 2 月 11 日早朝、大芝水門近辺で職務中に心筋梗塞により倒れられ広島市民病院に急送され、その後容体が落ち着いてからは支部に近い市内横川にある長崎病院を経て、約 1 年間自宅で療養を続けておられました。その間私たちと直接意思を通じあうことができないまま、お別れすることになりました。

葬儀は 2 月 26 日市内緑井の平安祭典で行われ多くの教え子や、野鳥の会関係者が参列し別れを惜しみました。野鳥の会本部から柳生会長、中四国ブロック各支部から弔電もありました。ここに、故人の友人として報告します。

日比野



図書館だより

【寄贈本】

「広島県の絶滅のおそれのある野生生物(第3版)」

レッドデータブックひろしま2011」

レッドデータブックひろしま改訂委員会(編集) 広島県発行

上野吉雄・日比野政彦氏寄贈 A4判 633頁

生物全体では、絶滅種19種、絶滅危惧Ⅰ類229種、絶滅危惧Ⅱ類242種、準絶滅危惧351種、要注意種159種、合計1000種で2003年の751種より大幅に33.2%も多くなっている。

鳥類：Ⅰ類 シロエリオオハム・イヌワシ・タマシギ・オオシシギ・コアシシギ・コノハズク・ヤイロチョウ・コマドリ Ⅱ類 ヨシゴイ・ミズゴイ・サシバ・クマタカ・チュウヒ・ヒクイナ・コミズク・ヨタカ・フツボ・ウソウ・サンショウクイ 準絶滅危惧 クロサギ・ハチクマ・オオタカ・ハヤブサ・クイナ・カルチドリ・タビ・セン・ハマシギ・スズク・ロカモメ・カンムリウミスズメ・ヤマセミ・マミシロ・コササビ・タキ・シラカバ・オシロイ 要注意種 オシドリ・ノスリ・ハイタカ・シロチドリ・イソシギ・アマツハメ・シロハラ・キハシ・ホオアカ・ミヤマホシロ・クロジ

「密猟事例&かんたんにわかる鳥獣保護法2013」

全国野鳥密猟対策連絡会編集・発行・寄贈 B5判 49頁

内容は、森の新聞182号(2012.9・10)に詳細に報告

「BINOS日本野鳥の会神奈川支部研究年報 第19集 2012」

神奈川支部編集・発行・寄贈 A4判 119頁

その一部を紹介。◇論文 平塚市におけるコマドリの場で採集される羽の季節変動
◇観察記録 相模川中流域におけるコアシシギの繁殖行動 ◇調査記録 観察された野鳥の変遷からその原因を考える など多彩な活動記録です。

「米子水鳥公園事業報告書編平成23年度」

中海水鳥国際交流基金財団

編集・発行・寄贈 A4判 150頁 鳥類全種全量調査によると、コハチチョウ(10月14日～3月31日)最大659羽、ハジロチドリ・ヘラシギ・亜種アメリカカモが初記録。平成23年度飛来種130種、1995年開園以来206種を記録。

「庄原市立比和自然科学博物館標本資料報告第13号 2013」

比和自然科学博物館に収蔵された 故小川光昭氏蒐集の鳥類標本-

故小川光昭氏(1933～2010)は備北地区で鳥類と哺乳類の研究を小奴可中学校校長を退職後も続けられ、広島県の自然史研究に大いに貢献された方です。1960年にヤイロチョウの落鳥を拾得し、中国山地にヤイロチョウが渡来していることを確認。ツキノワグマやホシジロなどの哺乳類標本やヤマセミ・フツボウソウなどの鳥類標本を製作されました。

今回、ご遺族が同博物館に寄贈された標本は、庄原市内で落鳥・拾得され小川氏に届けられたのをご自宅で剥製標本にされたもので、その数多く、15目38科118種418個体。

野鳥情報

受付期間:	I, II	2013/1/15 ~ 2013/1/14
	III	2013/2/3 ~ 2013/4/14
報告者数:	8 名	種数: 48 種 件数: 19 件

※番外 0 件を除く。

【広島・呉】 I: 5 件 , II: 0 件 , III: 6 件

クロツグミ	1	10/26	西村 安芸郡 熊野町 終認(渡り)
カヤクグリ	1	1/11	西村 安芸郡 熊野町 熊野で16年ぶりに見た
ツリスガラ	10	3/24	高橋 西区 採餌
オオジュリン	1	3/24	高橋 西区 一
センダイムシクイ	1	4/6	酒井 安佐南区 暖かい谷の中でさえずり
オオソリハシシギ	2	4/9	石川 西区 干潮の干潟で採餌

【福山・尾三】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 5 件

オオマシコ	6	2/24	渡辺 神石高原町 雪が残る林道脇で、落下したハギの果実を採食していた。雄は美しい成鳥、雌の殆どは若鳥。
ハウロクシギ	1	3/24	渡辺 福山市 今季初確認。干潟でカニを捕食
セイタカシギ	1	4/10	西村 三原市 沼田東町 水張りされた田んぼを歩き回ってミズなどを採餌他にタカブシギ4羽

【東広島・竹原】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 0 件

【芸北】 I: 3 件 , II: 0 件 , III: 0 件

ミヤマガラス	52	2/21	佐々木 安芸高田市 吉田町 採餌
アトリ	4	3/11	荒木 北広島町 (旧 芸北町) さえずり。きょっきよつと聞こえる短い声で、間をあけて繰り返す地鳴き
カワアイサ	32	3/11	荒木 北広島町 (旧 芸北町) 3月にはカワアイサがここに北に帰る前に集まってくるのか個体多い。12月末の2~3倍

【備北】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 0 件

- ◆ここに掲載されたものは野鳥情報カードからの抜粋です。無断転載等は固くお断りいたします。
- ◆掲載されたものが必ずしもそのまま公式記録になるわけではありません。ご了承ください。
- ◆野鳥情報カード I・II は事務所へ郵送、野鳥情報カード III は BCL06644@nifty.com ホームページ添付してお送りください。
- ◆新市町村名が分からない場合は、旧名称で記載してください。



■2012年度に続いて、 日本野鳥の会のツバメ全国調査2013 「ツバメの子育て状況調査」がスタートしました

今年は、ツバメの子育てがどのくらい成功しているのか、どんな理由で失敗しているのかを明らかにすることを目的に、広く全国に呼びかけてツバメの子育ての調査を行います。

広島県からも沢山の情報を提供しましょう！

詳しくは、本部HPをご覧ください。

連絡会報告

3月連絡会

日時：平成25年3月2日（土曜日）

18：40～19：40

出席者：井町 大西 中崎 堀江 日比野

欠席連絡：福本 倉岡 光本

① 報告

- ・「みささ太田川アイクラブ」指導
～バードウォッチングにでかけよう～
2月23日（土）午前7名の会員が参加
小学校3年から6年参加者15名であった。
- ・小島規嗣元支部長が2月24日（日）23：11
分亡くなられ、同25日（月）通夜 翌26
日（火）に葬儀があった。葬儀に野鳥の会柳
生会長、中四国ブロック各支部から弔電があ
った。野鳥の会関係から多数の、故人をし
ぶ参列者があった。

② カワウ調査の件

広島県からカワウ生息調査への関わり方につ
いて打診あり。H25、H26年コロニーやねぐら
の位置確認、生息数モニタリング等次連絡会
で検討する。

③ 八幡川人工干潟鳥類協働調査について

2月12日 支部長、日比野出席

広島県港湾企画部で説明を受け協力する
意思表示をした。

春、秋、冬の年3回支部探鳥会時に3エリ
アに分け個体数記録を取り報告する。

④ 人工干潟清掃探鳥会関連（堀江）

全労済地域貢献助成事業に応募準備をしたい。
4月連絡会で承認後正式申込みする。

4月連絡会

日時：平成25年4月6日（土曜日）

18：30～20：40

出席者：福本 倉岡 光本 井町 今橋

大西 堀江 日比野

欠席連絡：中崎 高橋

① 報告

- ・販売用「タカ丸君」残数29。
- ・コープハウジングひろしまリフォームスタ
ジオ（楠木町第2弘億ビル1F）展示コー
ナー展示用に利用可

② 中四国ブロック会参加予定

支部から8名参加。岡山県西栗倉村「若
杉天然林」5月18～19日

③ 五日市人工干潟鳥類協働調査

広島県に協力し、春4～5月、秋9月、冬
12月年3回八幡川探鳥会時に詳しい調査
を行い報告する。4月27日（土）初回。

④ カワウ調査の件

- ・H25年：滞在情報の提供
- ・H26年：生息数モニタリング（年3回調査）
- ・支部が積極的に関わり、保護管理の視点を
広島県のカワウ対策事業に反映したい。
（取りまとめ担当：福本支部長）

⑤ 探鳥会・事務所当番調整

5、6月を中心に調整。「広島城探鳥会」
を定期的な探鳥会とすることを前提にバ
ードウィーク期間中の11日12日に開く。

⑥ 森の新聞のページ割他

4月14日完成原稿締切

小島元支部長の逝去のお知らせを会員に
連絡、カワウ調査の意義等を広報する。

⑦ 支部活動の広報について

- ・事務所当番時のお話会（当番担当者ごとテ
ーマを設定）
- ・インターネットの活用
SNS：フェイスブック、ツイッター、会
員間の野鳥写真等準備でき次第広報する。
- ・小物用意（ピンバッジ、シール等記念品）
- ・新入会員向けウエルカムグッズ入会時に送
付（名札、礼状、森の新聞最近号等）する。

入会情報転送（日比野）⇒森の新聞（光本）、
ウエルカムグッズ担当（倉岡）

⑧ 人工干潟清掃探鳥会関連（堀江）

全労済地域貢献助成事業に応募する資料
の読み合わせ、9月16日（月祝）を予定。

渋下さん 旗堀さん

★新聞が届かない場合は、早めにご連絡下さい。

★住所変更は支部・本部両方にご連絡下さい。(支部ですませたい方は「本部へ連絡を」と注記を)

★継続会費納入が4か月滞ると、会報の発送が止まります。

GATHERING CALL ～ 編集後記

- 研修出張に向かう新幹線の中で、眼鏡がないことに気付き頭が真っ白に。鳥が見えない!
…いや違ったスライドが見えない。(酒井)
- 小島先生の意志:支部活動を進めることが先生の想(おもい)をかなえることとして努めます。
(日比野)
- ナカサキの似顔絵を、今春卒業したK高校の生徒が書いてくれました。なかなか評判がいい?
(中崎)
- 広島はつかいち大橋を望んでカモを見ていると、通りかかりの人「あの鳥、広島県の鳥だから、アビよねと皆で話しているんですよ」-初めて八幡川河口での探鳥会でウミネコを教わったとき、島根日御碕の鳥が広島に??と驚いた自分の姿に重なりました。(石川)
- 沢山の投稿をいただき大変うれしく思っております。これからもよろしくお願いします。
3月から実施中のお話し会も是非。探鳥会とお話し会でお会いしましょう。(光本)

▽▽ 事務所と野鳥図書館 ▽▽

開館時間 土曜・日曜

14時～17時

- *右記の担当は替わることがあります。また、当番の急な事情で開館できないこともありますので、できれば電話でお確かめ下さい。
- *電話での直接対応は開館時間内しかできません。留守電・FAXはありますのでご利用下さい。

*次回「森の新聞」の作業予定は

6月9日(土) 原稿締切日

6月30日(日) 発送作業

担当: 光本 090-4694-8632

事務所当番

(5月)

4(土) 光本	5(日) 休館日
11(土) 福本	12(日) 休館日
18(土) 図書館部	19(日) 今橋
25(土) 才峠	26(日) 休館日

(6月)

1(土) 倉岡	2(日) 光本
8(土) 才峠	9(日) 日比野
15(土) 井町	16(日) 福本
22(土) 休館日	23(日) 図書館部
29(土) 休館日	30(日) 光本

日本野鳥の会広島県支部 & 野鳥図書館

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目9-3 小田ビル 1F

TEL/FAX 082-233-7304

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html

